

村のようす
(48年4月1日現在)

世帯数 1,421戸
人口 7,210人
男 3,522人
女 3,688人
面積 46.62ha

広報 たまかわ

編集・発行
福島県石川郡
玉川村役場総務課

印刷所
須賀川市加治町69
（株）円谷印刷



日の丸の旗で集団登校 川辺小の伝統行事

今年の入学式は四日行なわれたが、川辺小では明治初期から伝統行事として続けられている、旗持ち集団登校がこゝとも一週間行なわれた。

この行事は、全児童八十五人が登校前、東組、向宿組、宿岡組の三方部に集合し、川辺八幡神社に参拝、入学報告すこやかな成長と、交通安全を祈願したあと、新入学児を先頭に手に手に日の丸の小旗やノボリを持ち「鐘の鳴る丘」などを歌いながら元気よく学校に行くもので、沿道にはおとうさんやおかあさんたちも出て昔を思い出しながら、新入学児を激励し、六年生の上級生たちは正しい道路の歩き方を教えながら、入学児（今年十三人）をいたわるように行進するもので、このため入学児も楽しく登校する習慣がつくほか、事故防止にもつながるものである。

なお、この行事は明治初期（川辺小創立）から児童たちが自主的に行なっているもので日の丸の小旗やノボリは来年六年生になる現在の五年生が引継ぎ保存し、古くなる同年々上級生たちが新調するものであります。

四月の行事予定表

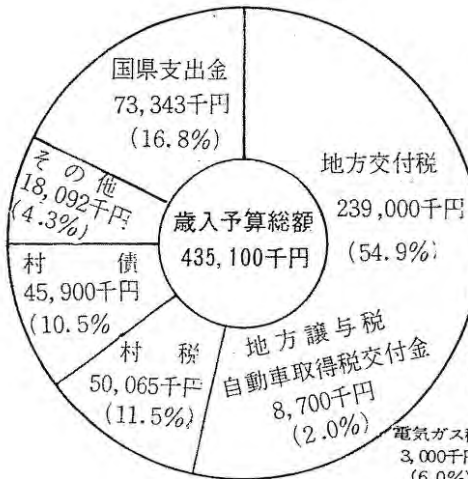
- 五日 農業改良推進員役員会 (産業課)
- 七日～二十七日 南須釜地区国土調査閲覧 (企画室)
- 一〇日 米生産調整幹事会 (産業課)
- 一〇日 生ボリオワクチン授与
母子センター (住民課)
- 一二日 須釜支所 (住民課)
- 一二日 区長会 (総務課)
- 一六日 仔牛生産検査 西部地区 (産業課)
- 一七日 〃 東部地区 (産業課)
- 一七日 妊婦健康診断 母子センター (住民課)
- 二〇日 第五回農業委員会 (企画室)
- 中旬 消防幹部会 (総務課)
- 〃 民生委員協議会 (住民課)
- 二五日 米生産推進対策幹事会 (産業課)

人事異動

四月一日付で次の人事異動がありました。

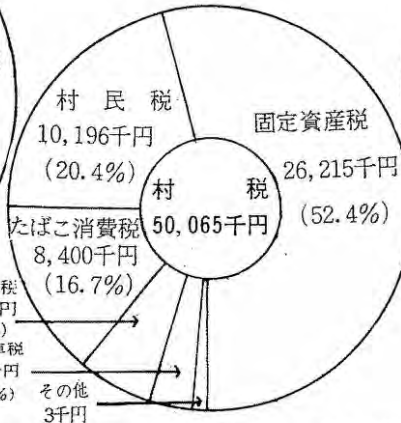
- 産業課長兼 企画室長 斎藤 泰三 (産業課長)
- 公民館長心得 関根 忠幸 (社会教育主事)
- 新採用
- 税務課 八木 喜久夫
- 保育所保母 車田 ミナ子
- 退職
- 企画室長 宗形 四郎

歳入内訳

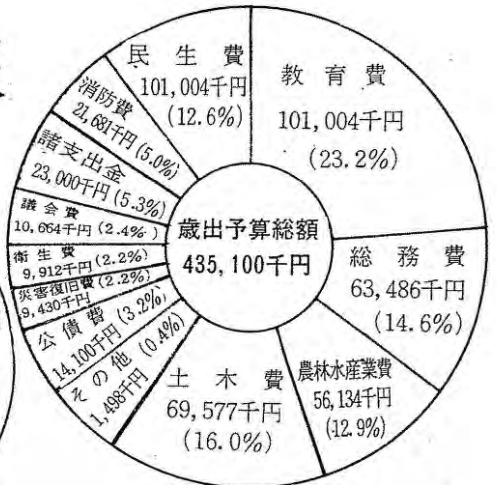


昭和48年度
一般会計予算

村税内訳

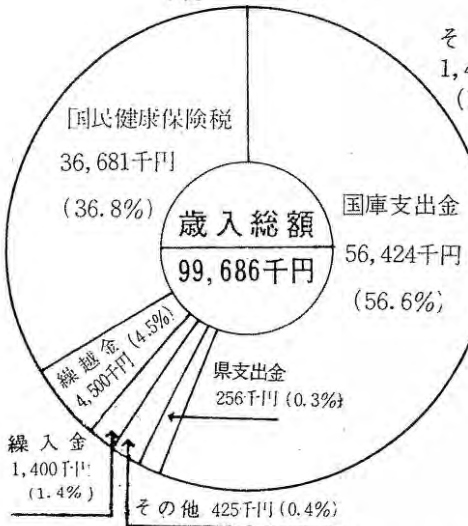


歳出内訳

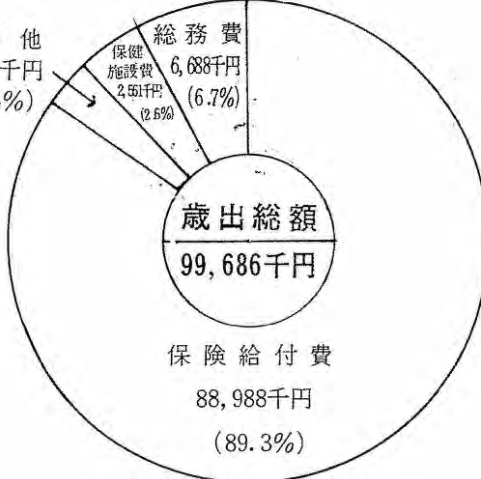


昭和48年度国民健康保険特別会計予算

歳入

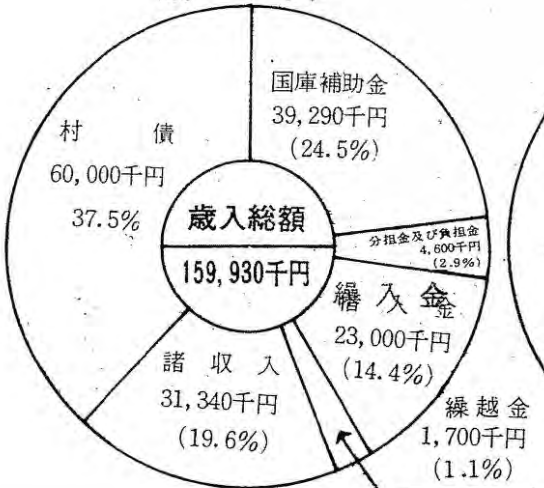


歳出

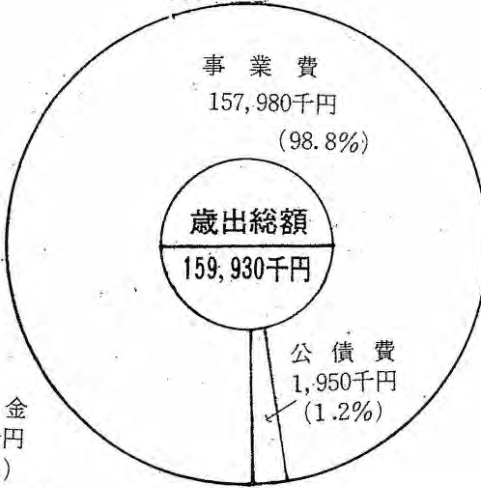


昭和48年度広域簡易水道特別会計予算

歳入



歳出



わが村の予算
四億三千万円を超える

昭和四十八年度の予算が三月の議会にて、一般会計、四億三千五百十万円、国保特別会計 九千九百六十八万六千円、水道事業会計 一億五千九百九十三万円のそれぞれの予算が議決されました。一般会計では昨年度予算(三億四千百万円)を大きく上回る四億三千万円を超える大型予算で、この中でも農政、道路及び福祉関係予算が伸びている。これは今年度より振興計画事

業が実施年度に入るための事業と広域市町村圏関係事業による村道改良事業等、社会福祉面においては七十才以上の老人医療費負担(五才引下げ)、児童手当の支給範囲の拡大及び保育所増設等によるものであります。その他の主な事業としては須釜小の二期工事、屋内運動場建設、地積調査事業、水道事業等があります。国保特別会計では前年度予算より十七%の伸びになっておりますが、これは医療費の伸びが主なものです。又、水道事業会計では今年度は二年目で今年度で事業が完了予定であるため予算額で前年度(六千四百百万円)の約二、五倍近い一億五千九百万円が計上された。尚、歳入、歳出の内訳は、別表円グラフのとおりです。

昭和48年度米生産調整

目標数量の配分

米生産調整推進については日頃よりみなさま方の御協力を賜わり深く感謝申し上げます。

今年からは転作に重点を指向し農家経済の減退を極力防止しなければならぬ等、国の施策からはうたれておりますが、本村の現状からは半湿田以上の悪い水田が多い現況から、これらに指向は容易でないと思われすが出来得る限りの転作配慮を切望したい訳で御座います。

各位様に配分した面積、量等について何分の消化に御協力賜わり度く切にお願い申し上げます。

さて市町村割当ての本年度については、先に報道機関等により広報され御承知の事と思えます。これら本村配分量に基づきまして個人別配分表を作成し、先般来お渡しをした訳で御座います。いぜんとして米は過剰の状態にあり、農家のみなさん方の絶大な御協力なくしてこの問題は解決しない訳であります。特別配分表次回の通りです。

部落名	調整田配分面積	調整田配分数量	備考
川 辺	一、四五九 ^{アール}	五九、六七八	
蒜 生	一八二	七、八七〇	
小 高	七〇〇	三〇、〇七九	
中	五〇五	二二、五〇四	
岩法寺	六〇八	二六、七七一	
竜 崎	八二五	三四、三八四	
南須釜	一、〇四一	四二、四八八	(青井沢含む)
北須釜	七四〇	三二、〇三四	
吉	四二五	一七、六六五	
山小屋	三三三	一一、〇二五	(青井沢一部含む)
四辻新田	二八二	九、五〇二	(東野含む)
計	七、一〇〇	二九六、〇〇〇	

確定申告がまちがっていたときは訂正することができます。

確定申告をしたあとで、所得や税額の計算をまちがえて、税金を少なく納めたり、還付を受ける税額が多かったことに気づいた場合には、「修正申告」をして訂正することができます。

税務署からの調査を受ける前に修正申告をすれば過少申告加算税はかかりません。

また、所得や税額を多く計算して税金を納め過ぎたり、還付を受ける税金が少ないことに気づいた場合は、「更正の請求」の手続きをして、納め過ぎた税金を返してもらえます。

労働保険料報告書の提出

須賀川労働基準監督署より

労働保険ご加入のみなさん、昭和四十七年度確定、昭和四十八年度概算保険料申告は五月十五日までに、保険料を添えて労働基準監督所、銀行または郵便局に提出することになっておりますが、皆さんの便宜をはかり、つぎの日程で説明会および出張受付いたしますからご利用下さい。

なおご不明の点は、須賀川労働基準監督署へお問合せ下さい。(電話五一三五一九)

説明会

四月十八日午後一時三十分
石川町商工会
出張受付

四月三十日午前九時三十分
より午後三時
玉川村商工会



大凶作願書

大字山小屋字水溜
我妻茂世氏 所蔵

天保七年

大凶作諸願筋控

申八月奥州石川郡山小屋村表紙右方に『天明の度には劣り候、稀なり、凶作当村の儀は、種一粒もこれ無く候』とあるを見ても、如何に農民が困窮したかが計り知られる。本文中に『田は皆膏立ちとなり、畑作は大雨嵐のため倒れて実らず、葛、蕨の根を握って食ひ続けていますので、御検見(作柄調べ)を願いたるところですが、役人を迎えるための人馬にも難儀し...』

須釜の文化財 ⑮

宗門人別改帳

大字四辻新田字村中
塩田好一氏 所蔵

天保十二年分家浜
尾組四辻新田村宗門
人別天台宗御改帳

十一月、岩瀬郡式丹六内控宗門人別改帳は戸籍台帳として、担那寺、所有高、戸主以下家族、年令、婚姻、出稼雇入れ、質物、表公などを記し、明治五年(一八七二)に壬申戸籍となった。

村の構成員について、宗旨寺ごとに調査し、人別ごとに実印をとり、代官所に提出したもので、当時の村落や家族の状況を知る上で重要な文書である。

天保十二年(一八四一)



酒酔い運転 事故のもと
「おじさんたちこれ見て」

教職員の異動

村内の小中学校教職員に次の異動がありました。

新任校	旧任校	職名	氏名
玉川一小	竹貫中	校長	南条知一
須賀川三小	教諭	中野文一郎	須賀川小
田口小	教諭	野文一郎	南形小
小平小	教諭	水野仁	川内三小
古川熱子	教諭	古川熱子	中谷二小
			沢渡小
			仁井田小
			新採用
			中谷中
			二瀬中
			郡山二中
			行健中
			野木沢中
			泉中
			新採用
			仁井田小
			高久田富三
			服部健
			本田吉之助
			塩田重三郎
			原竹竹十
			生天目英憲
			白石佳子
			須賀川小
			南形小
			川内三小
			中谷二小
			沢渡小
			仁井田小
			新採用
			中谷中
			二瀬中
			郡山二中
			行健中
			野木沢中
			泉中
			新採用
			仁井田小
			高久田富三
			服部健
			本田吉之助
			塩田重三郎
			原竹竹十
			生天目英憲
			白石佳子
			須賀川小
			南形小
			川内三小
			中谷二小
			沢渡小
			仁井田小
			新採用
			中谷中
			二瀬中
			郡山二中
			行健中
			野木沢中
			泉中
			新採用
			仁井田小
			高久田富三
			服部健
			本田吉之助
			塩田重三郎
			原竹竹十
			生天目英憲
			白石佳子
			須賀川小
			南形小
			川内三小
			中谷二小
			沢渡小
			仁井田小
			新採用
			中谷中
			二瀬中
			郡山二中
			行健中
			野木沢中
			泉中
			新採用
			仁井田小
			高久田富三
			服部健
			本田吉之助
			塩田重三郎
			原竹竹十
			生天目英憲
			白石佳子

反省

三輪貞夫

自分のことを考へると
人のことは言えないものだ
此の世に完全な人間完成がない限り
お互のデスカッションにより
人格修養は必要だが
それは常に
相手をよりよくしよう
幸にしようとしての
自分を含んでの話し合いで
両者にとってほんとうに有難いことである
だが反面に
相手を傷けるような
相手の人間感情を暗くするような
そしてあれはわからない
自分だけが偉いんだと
人を蔭で悪評する
そうしたことが
いかに愚であるかを考へたい
一人一人がそれぞれの人なりに
真剣に生きているのだ
みんなの幸せのために
お互がよりよく生きることを反省したい

東福寺の「薬師如来像」 県重要文化財に指定



南須釜東福寺にある「木造薬師如来立像」一軀及び「一本造両脇侍軀と十二神将像」十二軀が、昭和四十八年三月二十二日付で福島県重要文化財（彫刻の部）に指定されました。

この薬師如来立像は、東福寺境内薬師堂中央厨子の中に安置されている秘仏で、台座を含めて一、四二がで宋様式の影響を受けた彫刻で、容ぼうは厳しく髪が額に深くかかるなどの特徴をそなえ、切れ長の両眼には墨、くちびるには朱が入り、額には水晶がはめ込まれていゝ。鎌倉中期の作とみられる秀作である。

その如来像の両脇に日光、月光菩薩像二軀、それに十二支の動物を冠上にもつ十二神将がならんでいる。この侍像及び十二神将は寄せ木作りで室町時代後期の作と推定されている。

このように一つの寺にしかも立派な薬師如来像、日光、月光、十二神将像がそろっているのは県内には例がない。

四月の県税 自動車税 一期

早めに納めましょう
納期限は三十日です

郡山県税事務所

新任校	旧任校	職名	氏名
須賀川中	郡山二中	教諭	波辺昌三
須賀川中	具泊中	教諭	鈴木美夫
須賀川中	野木沢中	教諭	白石郁夫
須賀川中	竹貫中	教諭	緑川栄介
須賀川中	新採用	教諭	深谷裕子
須賀川中	新採用	教諭	兼子
新任地	旧任地	職名	氏名
浅川小	玉川一小	校長	吉田威一
須賀川三小	教諭	小針孝一	
南山形小	教諭	本郷孝夫	
野木沢小	教諭	加藤良子	
大久田小	教諭	樋口博子	
石川中	教諭	八木和子	
西野小	教諭	迎森一	
大原小	教諭	味戸芳治	
宮本小	教諭	岡崎重春	
白河二小	教諭	渡辺栄	
西田中	教諭	星博	
郡山三小	教諭	薄井雄	
郡山二小	教諭	菅野文雄	
須賀川一中	教諭	菅野文雄	
西田中	教諭	菅野文雄	
中村一小	教諭	小池順子	
浅川中	教諭	武花重芳	
川東中	教諭	白岩重芳	
小平中	教諭	阿部周平	
稲田中	教諭	郷部周平	
高野子	教諭	高野子	

わが村は発展していく

(その1)

石川地方における

勤労青少年と成人の実態調査から

石川地方公民館連絡協議会、同主事部会では、石川地方五町村の勤労青少年の実態を知り今後の社会教育の方向づけをするために「石川地方における勤労青少年の実態と今後の教育の方向についての調査」を実施しました。

この調査は、勤労青少年（十五才から二十五才）と成人（三十才から六十才）を対

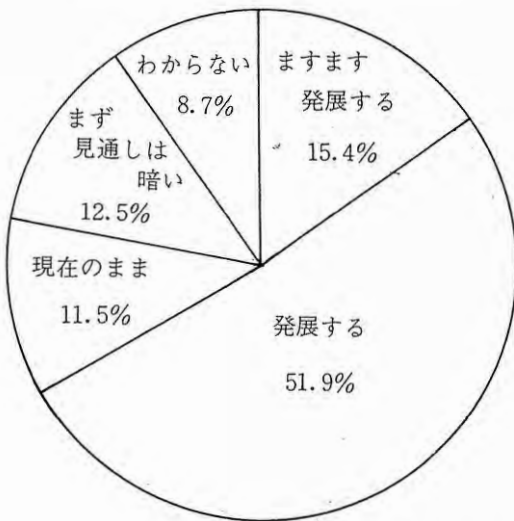
象に、石川地方全体で勤労青少年と成人それぞれ八百二十五人を無作為抽出法で抽出し調査をしたもので、玉川村では勤労青少年と成人それぞれ百二十五人について実施し、回収率は勤労青少年が百八人で八十六・四％、成人が百十五人で九十二％でした。

今月号から玉川村分の調査結果を順に掲載いたします。

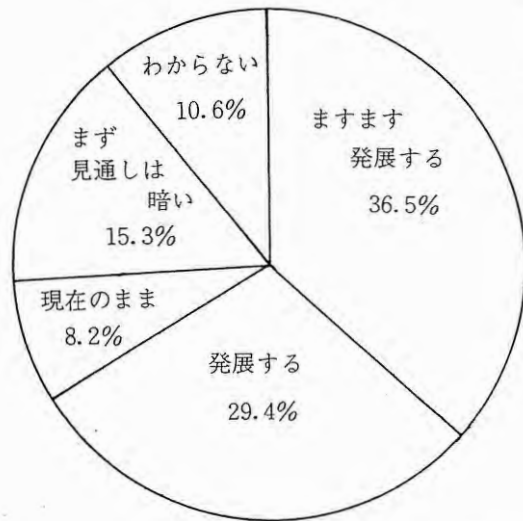
調査対象者の就業内訳

職業	農林業	商工業	勤め人	家事	その他	無回答	計
勤労青少年	16人 18.8%	6人 7.1%	51人 60.0%	8人 9.4%	3人 3.5%	1人 1.2%	35人 100%
成人	48人 46.2%	7人 6.7%	24人 23.1%	21人 20.2%	3人 2.9%	1人 0.9%	104人 100%

成人104人について



勤労青少年85人について



玉川村今後の見通しは……

右の表で、「ますます発展する」及び「発展する」を合すると、勤労青少年で六十五・九％、成人で六十七・三％の者がわが村は発展していくと答えており、今後の見通しは明るいといえます。

青年海外派遣団員募集

県では次代を創る青年に研修と規律ある団体生活を通じて心身を鍛練し、国際的視野と親善を深め、日本の正しい姿と位置づけを理解させ、正しい展望に立った郷土福島県の建設に資するため次の要領で青年海外派遣団員を募集しています。



実施期間 昭和48年7月15日から7月27日

訪問都市 ナホトカ、パバロフクス、モスクワなどの諸都市

資格 県内に居住する勤労青年で20才以上30才で健康で協調性に富み、健全な団体に加入積極的に活動している者

申込締切 昭和48年4月25日

希望者は玉川村公民館へ問合せ下さい。



健康優良児の表彰

去る三月二十六日公民館日 本間に於いて四十七年度健康優良児の表彰式を行い十七名の乳幼児が表彰されました。村では母子保健推進のため例年実施している健康優良児の表彰を本年も昭和四十六年一月一日から十二月三十一日まで生れた一〇八名の乳幼児を対象に健康診断、育児相談、予防接種等を受け、発育も標準よりすぐれている十七名の優良児を表彰いたしました。

新入学児童の安全を願って 黄色い帽子を無償贈呈

優良児の氏名は次のとおりです。括弧内は保護者名と部落名です。

須釜淳子 (義男、小高) 村の交通対策協議会では、今年小学校に入学された児童(九十六名)と保育所(七十七名)、児童館(四十五名)に入所された園児に対し、交通障害保険付きの黄色い帽子を贈られました。

小針智香子 (幸男、中) 通園、通子児には必ず黄色い帽子を着用させ、新入学児童を交通事故から守るよういたしました。

矢吹 正 (金一、北須釜) 小林恵子 (彦次、竜崎) 鈴木博幸 (好一、南須釜)

たらの芽の伸びて山里楽しくす
みちのくの田打初めし肥料あそぶ
鶯低く舞ふてさやかな替ひと日
野施行の踏む足音や霜柱
春の浪貝設立て、戻りけり
田の月の曇るは糶料の集ひをり
春かすみたなびく野良の群雀
籠の音たて解けし春の湖
海岸の岩海苔かほる二月かな
粕汁に酔うてあはれや昼寝なり

霞 拙 郎



城ヶ島 溝井一郎

朝風に浴衣の裾を吹かせつつ大洋に向き
大きく手を上げ
入江なす対岸の高き建物は青葉をぬきて
朝の陽に白し
大き石段より見下す海の限りなく浪つき
つぎと白くより来る
宿の下の潮騒の音速のきて思わぬ位置が
岩礁となる
停車長き電車より見ゆ駅員の操作は軽く
飛びおりにけり



医学 一口

蓄のう症

蓄のう症は、だれでもが知
っている鼻の病気ですが、歯
がらおこることもあるので
す。

上あごの奥、歯の根の先端
が化膿し、それが上顎洞(副
鼻腔)の一種で、ほおの骨の中
にある空洞)底に破けて蓄の
うをおこすわけです。

原因となる歯は、第一大臼
歯といつて、大きな奥歯の中
のいちばん前にあるもの、こ
の歯が虫歯などになっている
と原因となりやすいのです。
症状は、突然片方の鼻から
くさいうみのような鼻汁が流
れ出ます。軽いときは、ふと
におうだけのこともありま

が、歯を抜いたあとの穴が上
顎洞の底にぬけて蓄のうをお
こしていることもあります。
く、慢性にしてしまうこと
同じ側の鼻からくさい鼻汁が
出たようなときは、やはり蓄
気がつきたいものです。

寿

お誕生おめでとう ございます

(三月分の出生届書から)

部 落	出生児氏名	世帯主名	続 柄
川 高 辺	田 子 健 司	国 夫	お い
小 高 高	高 原 由 香 里	茂 夫	孫
川 高 高	宗 形 さ お り	菊 次	孫
中 高 高	石 井 春 利	正 登 佳	長 女
中 高 高	澁 井 谷 春 剛	義 治 之	二 男
中 高 高	吉 田 金 正	金 治 之	孫 男
中 高 高	大 竹 美 貴	勝 義 一	孫 女
中 高 高	佐 久 間 祐 二	幸 雄	孫 男
中 高 高	小 林 賢 二	英 雄	孫 男
中 高 高	真 野 目 正 幸	幸 雄	孫 男
中 高 高	近 内 幸 勉	重 雄	孫 男
中 高 高	須 田 幸 勉	助 夫	孫 男
中 高 高	関 根 良 仁	今 朝 夫	孫 男
中 高 高	小 針 利 枝 子	吉 秋	孫 男
中 高 高	大 和 田 孝 子	孝 子	孫 男
中 高 高	石 井 孝 子	孝 子	孫 男

ご逝去お悔み申し上げます

(三月分の死亡届書から)

部 落	死亡者氏名	年 令	世帯主名	続 柄
小 高 高	関 根 常 吉	(64)	主	キタの夫
小 高 高	大 竹 ウメヨ	(67)	主	勝 義 母
小 高 高	小 林 義 一	(75)	主	幸一の祖父
小 高 高	円 谷 ヒ サ	(65)	主	主
小 高 高	鈴木 浅 吉	(69)	主	浅太郎の父
小 高 高	我妻 源次郎	(68)	主	武 夫 父
小 高 高	石 井 ナカ	(62)	主	利五郎 妻